


ダンスダンスダンス

2023東海聖会講師・大頭眞一おおず しんいち

ペリコレシスという言葉があります。カイザリアのバシレイオス(330-379)が、三位一体の神を表すのに用いたとされている言葉。相互内在性とか相互浸透と訳されるのですが、大胆にもdancing among each otherと表現されることもあります。父と子と聖霊がたがいに交わりのうちに踊る！それはあまりにも調和したダンスなので一体にも見える愛のダンス。図のようなシンボルが用いられることもあります。

聖化とはこの三位の神のダンスに招き入れられること。神と共に仲間と共に、愛にうつつを抜かし、我を忘れて踊ること。最初はたどたどしいステップ。仲間の足を踏んだり、踏まれたり。けれども踊り続けるうちに、筋肉ができてきます。仲間とアイコンタクトが取れるようになります。大胆に身を預け、預けられ、ダンス・ダンス・ダンス！

申し遅れましたが、講師の大頭眞一です。神戸に生まれ、25歳で受洗しましたが、すぐに教会から離脱。31歳で回帰し、36歳で十四年間勤めた三菱重工を退社。入学した英国マンチェスターのナザレン神学校で東方教父に出会ったときよめバカです。現在は日本イエス・キリスト教団の京都信愛教会と明野キリスト教会の牧師、関西聖書神学校講師(教会史)です。コロナの時代に咲いた徒花あだはなを自称し、ネットの世界で、神学私塾「 焚き火塾」(QRコード1)や「凸凹神学会」を主催。またセクシャル・マイノリティをめぐって親友久保木聡と共に「ドリームパーティー」(QRコード2)の共同発起人を務めています。

ます。

聖化についてあらかじめ予習したい方は「焚き火を囲んで聴く神の物語・対話篇」(ヨベル刊)所収の拙論「ニユッサのグレゴリオスの動的聖化論」や、訳書「聖化の再発見」(いのちのことば)、ウェスレー・メソジスト研究23号所収の「小島伊助の動的聖化論」(ウェスレー・メソジスト学会)をお読みくだされば、と思いますが、読まなくてもちっともかまいません。

それよりあらかじめ、語ってほしいこと、質問などを事務局を通してお寄せくだされば、より有益な時になると思います。会場での質疑応答も出来るだけ多く、と願っています。

みなさんにお会いするのをほんとうに楽しみにしています！待ちきれないぐらいに。



QRコード1

 焚き火塾 ドリームパーティー

QRコード2



ということで、
聖化について素朴な質問のある方は
下記までどしどしメールをください。

東海聖化交友会 事務局
tokaiskk@gmail.com

今聖会のキーワード「焚き火」については
東海聖会報・7頁右下の欄をご覧ください。

第36回 東海聖化交友会・総会

2023年2月27日(月)
於：インマヌエル名古屋教会

報告/THA書記・高山 清和

去る2月27日、インマヌエル名古屋キリスト教会を会場に、第36回東海聖化交友会総会を開催しました。対面15名、ZOOM3名、合計18名の出席でした。

開会にあたり会長の秋山直光師よりピリピ3:13-16が開かれ、目標に向かって前進するパウロの宣教と信仰姿勢に若々しさを感じると語られました。「私は、自分がすでに捕らえたなどとは考えていません」(13節)と言って前進するパウロの姿勢にこれからの東海聖化交友会を重ね、発足から35年の歳月を経て、ますます聖化の宣証の一事に励んでいきましょう、必要あれば様々な状況を受け入れ、パウロのように若々しく前進していきましょうと、力強い励ましと希望のことばを語って頂き感謝でした。

その後議事に入り、第一号議案「2022年度報告」、第二号議案「2023年度計画」が書記、会計および次世代育成担当、遠州支部の浜田耕三師からなされ、それぞれ承認されました。

2022年度を振り返りますとき、依然コロナ感染症の影響が続いていた中でしたが、6月25、26日の第29回東海聖会(講師：岡田仰師)、10月23日の第35回東海聖化大会(講師：ケビン・ブラウン師 説教動画)を対面とオンライン併用とハイブリッド形式で行うことができ、感謝でした。2023年2月12日には第25回遠州聖会(講師：鎌野善三師)を行い、遠州支部にも大きな恵みが注がれていますことに御名を崇めました。

また2022年度は役員黒田百合香師(旧姓)のご結婚、遠州支部会長の竿代忠一師および東海聖化交友会設立時副会長の中村健師のご召天など、喜びと悲しみの交錯する一年となりました。歴史を積み重ねていく中での変化に順応しながら、2023年度も6月の東海聖会(講師：大

頭真一師師)、東海聖化大会(※詳細は検討中)、次世代育成の活動、そして2024年2月の遠州聖会など、主に期待して出発できましたことを感謝します。

なお、今総会は役員改選の年ですので、退任の黒田百合香師に代わり、古田大^{ひろのぶ}展師(活けるキリスト一麦教会)を役員としてお迎えし、感謝のうちに総会を終えました。



* * * * *

「聖化についての新鮮な学び」

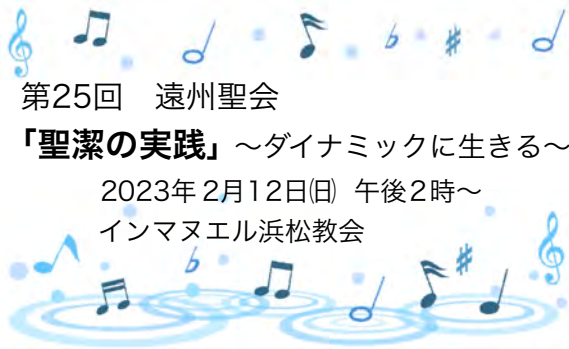
古田大展

今年の総会の学びは、秋山直光先生が導いてくださり『聖化の再発見』(英国・ナザレン神学校発行)の1章を皆で読みました。また、石田聖実先生によるレスポンスをいただきながら、そこから導き出される感想や思いを参加者一同で小グループで分かち合う時となりました。

石田先生からは、聖いクリスチャンというと聖人君子のイメージが強いが、「完全な子羊」とは品評会の一等賞ではなく、病気の無い、健康な“普通”の子羊であったことを思うと、普通のクリスチャンで聖いことを『聖化の再発見』からは思わされる、とご発言いただきました。そのご応答から、分かち合う時間が足りないと思われるほど、上質な語り合いの時間が与えられました。

学びに先立って、総会の奨励として、会長の秋山直光先生がピリピ3章13-16節から、自分は何もかもわかっているというのは老化の現われである。パウロはそのような余裕は見せず、「それはそれとして」と一事に励み、前進した。THAもこの若々しさを保っていきたくないと語ってくださいました。

今回の総会の学びは、聖化について、そのような若々しさをもう一度与えられるような、とても新鮮な学びでありましたことをご報告させていただきます。



第25回 遠州聖会

「聖潔の実践」～ダイナミックに生きる～

2023年2月12日(日) 午後2時～

インマヌエル浜松教会

講師：鎌野善三師(日本イエス・キリスト教団西宮聖愛教会牧師)

聖書箇所：ピリピ人への手紙4章4～7節

説教題：「祈りの喜び」

主の御名を賛美いたします。2月12日(日)午後、第25回遠州聖会が3年ぶりにインマヌエル浜松教会で行われ、多くの方々が集まることができました。

昨年11月には長年にわたり東海聖化交友会遠州支部の責任を負って下さったインマヌエル磐田教会の竿代忠一先生を天にお送りし、私たちにとっては寂しさの中での開催でしたが、主の慰めと恵みが溢れた聖会でもありました。

今年は「聖潔の実践」～ダイナミックに生きる～をテーマに開催されました。

聖会の前半では一同が賛美を持って主をほめたたえ、今回もグレイスキッズクワイヤーの特別賛美が捧げられ、皆の心の目が主に向けられて行きました。

鎌野先生の説教では、「祈りの喜び」というテーマで御言葉が語られました。先生は前日まで山形での3日間にわたるご奉仕の後にも関わらず、お疲れを見せることなくユーモアを交えながら力強く、また分かりやすく御言葉を取り次いで下さいました。

メッセージでは、三位一体の神様の存在と関係、交わりを通して私たちもその大きな愛と豊かな恵みの中に入れられていること、主にあつて喜ぶべき理由を聖書の言葉や例えを用いて語って下さいました。

パウロ先生は手紙を書き送った当時、獄中であつたにも関わらず喜ぶ

べき理由について何度も語られました。それは状況ではなく、主にあつて喜ぶこと。また共にいてくださるお方ゆえに喜ぶことができるという事です。

鎌野先生は私たちが喜ぶ最も大きな理由として5節の「主は近いのです」という御言葉の深い意味を解き明かして下さいました。

主は近いとは、

1、距離的にという意味だけでなく、頼りになる関係、なんでも話し合える関係の中にある。
2、目には見えないが、主は私たちと一生そばにいてくださる。そればかりか内にいてくださる方。聖書の中に神の御言葉があるという近さ。

3、目に見えるお方としてイエス様が帰って来られる日が近いという時間的な近さ。聖書の言葉にある通り、この時が終わりの時代として主に会う備えをし待ち望みつつ祈る時である。

以上3つのポイントから主は近いという事、また祈りと御言葉に生きる力と喜び、大切さについて分かち合ってくださいました。

アンケートにも多くの方がきよめの決意や祈りの喜びについての感想を残して下さい、お一人ひとりに主がお語り下さったことを実感いたしました。

また尊い捧げ物を通して聖会に関わる全ての必要も満たされました。全ての栄光を主に返しいたします。

記/グレイスライフチャーチ 田中進



活字離れも

.....何ノ其ノ

◆聖会講師の書籍ご紹介◆



“活字離れ”が言われて久しいですが、本を読むことでないと出会えない体験もあります。

今回の聖会講師の本の、ホンのいくつか紹介します。



ちょっと難しそうなタイトル。でも、読んでみると引き込まれる……。いのちのことは社/税込み2,200円)



聖会講師がめざす“焚き火”が何か知りたいなら、これ!! 「神という巨象をなでてみよう」の帯がすでに刺激的。(ヨベル/税込み2,750円)



“焚き火(対話する)”と“物語(物語る)”は双子の兄弟のようなもの。聖書を読もうとして挫折した人にピッタリの一書。(ヨベル/税込み1,210円 第7刷)



「しぶとく、諦めず、棄てない神」がずっと私を追ってくる……。旧約モーセ五書を順々に語る著者の真骨頂・第一部作。(ヨベル/税込み1,210円 第2刷)



2012年東海聖化大会講師M.ロダール師の名著を大頭師がヨベル新書として新装再版。(ヨベル/税込み(各)1,540円)

* * * * *

書店にない場合は、東海聖化交友会・公式メールアドレスまでお問い合わせください。(秋山)

次世代育成の働き

青年の集い

スタッフ及び協力者募集

記/新田 栄一

教団を超えて一緒に楽しく活動しましょう!!

《内容と特色》

- ①青年信徒たちによる自主的な活動。
- ②青年集会、青年懇談会、青年向け聖会、オンライン青年の集い、などを企画実行。
- ③信徒スタッフが聖潔について簡単な学び。
- ④聖書的聖化の宣証と聖潔派教会の交流が目的。

《意義》

日本中の教会の信徒・牧師が激減する見込みである「2030年問題」。現在のスタッフ兄弟の世代が主力になる十数年後、教団を超えての教会同士の協力(教会合併等)が不可避の予想。聖潔派の地域教会同士による協力を見通して、今から具体的な協力をします。

《お問い合わせ》

- ①信徒兄弟の方へ。ご興味がある方は、ご出席教会の牧師了解の上、お気軽に連絡先までお問い合わせを。対象は中学生～39歳の青年(既婚を含む)。
- ②牧師先生方へ。若い信徒兄弟をご推薦くださると幸いです。
- ③東海聖化交友会・公式メールアドレス tokaiskk@gmail.com



<青年の集いスタッフ>

委員長：関 はじめ (チャーチ・オブ・ゴッド春日井栄光キリスト教会)
書記：新田 喜恵子 (JHC名古屋城北教会)
会計：鈴木 歩 (単立 名古屋新生キリスト教会きよすチャペル)

《担当牧師》

藤森 旭 (日本イエス・キリスト教団名古屋教会)

《担当役員/顧問》

新田栄一 (JHC名古屋城北教会)



日本イエス・キリスト教団 知多キリスト教会

1952年、日本伝道隊のルーク宣教師夫妻が知多市古見の旅館を借りて伝道されたことから誕生した教会です。1956年、日本イエス・キリスト教団に加入。教団初の宣教師を送り出した教会でもあります。何度か移転した後、2012年、知多市八幡新町(名鉄・朝倉駅から徒歩5分)に現会堂が献堂されました。

2023年度より新しい試みを始めています。第一は、小グループによる分かち合いです。毎月1回、礼拝後に小グループに分かれ、質問をもとに礼拝説教の聖書箇所をより深く味わいます。前半の質問は聖書を文脈に沿って読んで理解するためのもの、後半はそこから教えられたことや悔い改めたこと、日常生活で似たような体験をしたこと等を分かち合うための質問です。真にみことばに生き、お互いのことをよく知り、交



わりを深める機会となればと期待しています。

第二は、部活動による全員参加の教会運営です。当教会に集う一人ひとり(客員や求道者も)が、祈祷部、宣教部、交わり部、まかない部、IT部、音楽部、営繕部、園芸部等、希望する部に所属します(複数可)。神の家族として、神を愛し、教会を愛し、互いに愛し合い、持ち味を發揮しながら活動し、教会運営の一端を担い合うためのものです。

当教団も、信徒・教職の高齢化、献身者の減少により、無牧の教会が増えています。そのような時代だからこそ、「キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わせられ、つなぎ合わされ、それぞれの部分はその分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられること」(エペソ4:16)が大切で、そのために新しい試みが用いられることを願っています。(記・知多教会牧師 木村勝志)

イムヌエル総合伝道団 磐田キリスト教会

磐田は静岡県西部にある市で、人口は約16万5千人であり、ちなみに皆さんもご存じのジュビロ磐田があるサッカーの盛んな町に磐田教会は建てられています。

教会の設立は1948年に熱心な信徒の家庭集会から始まり、今年で75年を迎えるまで守られて来ました。

開設の当時はインマヌエル静岡教会の松村導男牧師のご労により、1949年に最初の献堂式が持たれ、現在、私が7代目の牧師となりました。

また、磐田教会は見付にある教会として地元の人に親しまれ、この町から救われる魂が起こされ続けて来ました。

そして宣教の働きが進み 教会員の増加とともに会堂の手狭を感じて、新しい会堂が与えられるように祈り始めました。すると教会の場所



が県道の拡張によって移転せざるを得なくなり1984年に念願の現会堂が建てられました。

現在の教会は今之浦川の側にあり、地元の人たちには川の側にある教会として、絵に描かれるほどに親しまれています。

また教会の土地は約1200㎡ありますが、借地でしたのでこの土地が与えられるようにと40数年祈り続けてきました。篤い祈りに神様が応えられ2022年に土地取得がなされました。

この土地取得を通して、教会員一同が今も生きて働かれる神様を体験しました。そして教会員の家族も信仰の継承がなされ初代から二代目、三代目と信仰のバトンが受け継がれています。

磐田教会が置かれた場所で地元の人に愛され親しまれ、救いの箱舟となるようにと願っています。(記・磐田教会牧師 山本和雄)

追悼：竿代忠一先生を偲んで

【故・竿代 忠一略歴】

竿代忠一師は1932(昭和7)年1月28日、クリスチャンである父竿代靖、母益恵の8人兄妹の第一子、長男として栃木県宇都宮で誕生されました。ルカ16:10から「忠一」と名付けられ、「神と人ともに喜ばれ、神様の御用のできる者に」との母の祈りの内に育てられました。

1934年から父の転勤に伴い長野県松本、1937年には東京都京橋、1939年には千葉県船橋へと移られます。「学ぶことは大好き」(本人談)で軍人を志して幼年学校を目指しますが、1945年8月、14歳の時に敗戦に直面し、学びの目標、生きることの意味を見失い心が荒れます。当時、真夜中に自分のために祈る両親の姿に接したことを生涯忘れなかったと語っておられます。

終戦直後、イムヌエル綜合伝道団が誕生し、船橋教会に、摂理によって従兄弟で、同じ中学校に通う岩井啓師と導かれます。中学4年生の1947年8月23日、コリントII5:17のみことばを握り、「わたしに帰れ」との声を聞いて、自分中心の罪をお詫びし、キリストの十字架が自分のためであったと信じて救われます。同日、長野県梓川にて中沢博牧師より受洗し、再び生きる目標、学ぶ力も与えられました。校内では積極的に証しし、教会では教会学校教師として奉仕し、また路傍伝道にも参加しました。

その後都立高校、後の東京都立大学に入学します。学生運動の盛んな中、PTL(※注)を通して学生が救われて学内に誕生した聖書研究会の責任者となります。献身者も起こされ、自身も1950年8月2日、使徒22:10のみことばによって伝道者の召命を受け、翌1951年春、大学を中退してインマヌエル聖宣神学院に3期生として入学。同年、生涯の信仰の盟友

となる蔦田眞實牧師と共に米国ホートン大学に留学します。1956年に帰国後、眞實牧師の妹みぎはと結婚、高津教会、板橋教会、船橋教会で奉仕し、二男一女、孫三人を与えられますが、次男敬を生後3ヶ月で天に送るという試練も通過されました。

1987年、みぎは師が癌のため召天しますが、翌年まきば師(みぎは師の妹)を主からの新しい伴侶者として迎えられました。

1995年に脳梗塞を患いますが回復し、33年間の船橋教会での奉仕を経て、磐田教会に赴任。15年間の奉仕の後、健康上の理由により

2022年10月30日の礼拝をもって牧師職を引退されました。11月20日、聖日の営みを終えた深夜、咳がひどくなり在宅医の往診を受けましたが21日月曜日午前1時42分、急性心不全のため天の召しに与りました。地上での生涯は90年でした。

教会の奉仕の他に、国外(現、世界)宣教局、教学局、教会学校部、讚美歌委員会などに携わり、聖宣神学院でも週1回

の教鞭を執り続けました。教団外では福音文書刊行会、日本聖化交友会、また海外の宣教団体(ウェスレアン宣教団、ワールドゴスペルミッション)や神学校との交流の窓口として、また聖会等の通訳者としても用いられ、日本のホーリネスの働きに多大な貢献をされ、東海聖化交友会では遠州支部の会長として引退まで労されました。著書にはインマヌエル少年文庫「ぼくジミーです」、「祈りと私」、「ジーザスオンリー」(説教集)の他、翻訳書も多くあります。

生前の多くのお祈りとお交わりに感謝しつつ。(記/蔦田直毅)

※注:PTLはPocket Testament Leagueの略で、アメリカの宣教師と日本の奉仕者が戦後、日本語の新約聖書やヨハネの福音書を日本を縦断して配布をしていた働きのことです。



日本聖化協力会 (JHA) 第16回 全国評議員会



日本聖化協力会 (通称 JHA/1985年12月設立) に東海聖化交友会 (THA) も一員として加盟しています。毎年3月に東京・お茶の水クリスチャンセンターで開催される全国評議員会は、3月6日(月)に ZOOM も用いてのハイブリッド方式で開かれ、東海聖化交友会からは関昌宏先生と秋山が ZOOM 出席しました。

昨年 Youtube 映像を用いて開催されたケビン・ブラウン師による聖会の報告や、各加盟団体の活動・会計報告がなされ承認されました。今回もコロナ禍の各地域のいろいろな工夫が報告され、励ましを受けました。

全国評議員会の午前には毎年「聖化フォーラ

ム」が行われています。YouTube で視聴できますので、来年はぜひご参加ください。また5月か6月に『聖化』誌が教会に届いた際には、ぜひお読みください。

日本聖化協力会は再来年の2025年には設立40周年を迎え、なんらかの記念の塚を立てたいと願っています。このことも覚えて、ぜひお祈りください。

日本聖化協力会サイトアドレス

<http://jha.christ.gr.jp/index.html>

(※「日本聖化協力会」で検索できます)

報告・秋山 直光

東海聖化交友会 の運営・会計報告

東海聖化交友会・役員 (2023~2024年)

会長 秋山 直光 (中京聖泉キリスト教会)
 副会長 関 昌宏 (COG 春日井栄光キリスト教会)
 書記 高山 清和 (インマヌエル豊田キリスト教会)
 会計 新田 栄一 (JHC 名古屋城北教会)
 役員 川津 良知 (基督兄弟団 名古屋教会)
 石田 聖実 (日本キリスト教団 鈴鹿教会)
 猪木原 敦 (ナザレン名古屋西教会)
 古田 大展 (活けるキリスト一麦教会)
 会計監査 藤森 旭 (日本イエス 名古屋教会)

遠州支部

会長 蔦田直毅 (インマヌエル浜松キリスト教会)
 事務局 浜田耕三 (インマヌエル島田キリスト教会)

収 入		支 出	
会費	90,000円	講師関連	168,180円
席上献金	265,579円	通訳謝礼	10,000円
一般献金	38,000円	渡航費分担	0円
次世代育成	50,614円	会場費	0円
雑収入	2,690円	広報費	24,860円
利子	4円	事務通信費	32,071円
		会議費	28,067円
		書籍頒布	0円
		雑費	0円
		JHA分担金	71,287円
		Xn新聞広告	23,100円
		慶弔費	4,507円
		奉仕者謝礼	30,000円
		青年特別へ	50,614円
小 計	446,887円	小 計	442,686円
繰越金	572,401円	繰越金	576,602円
合 計	1,019,288円	合 計	1,019,288円

※2023. 2.8に会計監査・藤森旭がなされ、2.27の総会にて承認されました。



焚き火って、一麦教会で火を燃やすの？

そうです、火を燃やすんです。でも建物に火をつけるんじゃなく、参加するあなたの心に火が灯るんです。

「焚き火」は今回の講師・大頭眞一先生が一方的に語るのではなく、対話することを大切に福音の温かさに触れたいと願う働きのキーワードのようなものです。

今回の東海聖会では、24日(土)の初日には一麦教会1階ホールに個人イスを並べ、講師を含めた4人の“焚き火びと”を囲みます。ゆったりと落ち着いて流れる時間の中、4人はきよめを巡って語らいます。中には日頃心にあっても訊けなかった疑問が出てくるかも……でも何を言っても否定されません。“焚き火”ですから。

2日目の25日(日)は会場は一麦教会2階の礼拝堂で、集会スタイルも慣れ親しんだ聖会をしますが、語り合うことの好きな講師は説教を中断しての質問も大歓迎なのです。

実は、この斬新な聖会を企画した役員も何が起るか内心ドキドキなのですが、ただ一つ確実なのは、参加するアナタの心が不思議に燃えるということです。

ですから、当たりに来ませんか？ 一麦教会の焚き火に。お友達を誘って……

あなたも 焚き火にあたりにきませんか？



焚き火を囲んで聴く.....の著者が 会場でお待ちしてますよ

主催：東海聖化交友会 会長 秋山直光

2023 東海聖会

6月24、25日(土)日 14:30～

活けるキリスト—麦教会

名古屋市名東区亀の井2-102

講師・大頭眞一先生

1960(昭和35)年、神戸市生まれ。北海道大学経済学部卒業後、三菱重工に勤務。英国マンチェスターのナザレン神学校(NTC)と関西聖書神学校で学ぶ。現在、日本イエス・キリスト教団 京都信愛教会、明野キリスト教会 牧師、関西聖書神学校 講師。著作・ネット活動多数。

※「焚き火」については、第7頁右下コラムをご覧ください

2023・東海聖会 YouTubeライブ配信

① 右の『QRコード』からお入りくださるか、



② 「東海聖化交友会・YouTubeチャンネル」
<https://onl.bz/g3n2Wk5> からお入りくださり、
聖会1・聖会2をお選びください。

○聖会1(焚き火集会) 6/24(土) 14:30 (配信14:20開始)

○聖会2(焚き火的な聖会) 25(日) 14:30 (配信14:20開始)

※ライブ配信中に、講師への質問やコメントを受け付けています。
いつでも自由にチャットにお書き込みください。

○メールでの問い合わせ → 東海聖化交友会 : tokaiskk@gmail.com